

福岡市医師会 定例記者会見資料

ご質問と回答		
NO	ご質問	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月に入りコロナ感染状況悪化、市内でも陽性者数が急増する要因についての見解。 ・ 分かる範囲で今後の見通し ・ 県や国への政策要望 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月初旬は年末年始の家族・親族や友人間等で感染が広がった例が多くみられました。中旬以降は保育園や学校、高齢者施設等でクラスターが発生しています。 ○ 2/3現在、感染者数は緊急事態宣言前に比べ、若干、減少傾向に見受けられますが、予断を許さない状況が続くものと感じています。感染対策の継続が必要です。 ○ 国は大局的な見地から、感染拡大を抑え込む為に国民に対して分かりやすい説明を望みます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態宣言期限を前に福岡の医療提供体制(逼迫状況)について。 ・ 医療体制の逼迫は県知事は「現時点ではない」とのことだが、どういう状況になれば逼迫が予想されるか具体的なシミュレーション等。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入院病床等の医療提供体制の状況については、福岡県全域に関わることを本会で言及できる立場にありませんが、市内のクラスター発生や感染者増に伴い、受入体制に余裕はなくなりつつあり(2/1県発表:病床稼働率77.9%)、自宅待機の人数が増えつつある状況に危機感を感じています。
3	<p>早ければ2月中に医療従事者から順次始まるワクチン接種体制の準備状況について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療従事者向け接種は県が調整主体となり、高齢者と一般の方を対象とした接種が市町村主体で調整が行われる為、福岡市と連携・協議し、接種会場、問診票、ワクチンの準備、医療スタッフの確保等を含めた体制の構築を進めています。

※ご質問に対する回答は定例記者会見時点での内容です。今後の感染状況等により内容が変更になる場合があります。

令和3年2月3日